

## 移住定住に関する意識調査・アンケート集計結果

平成29年10月16日

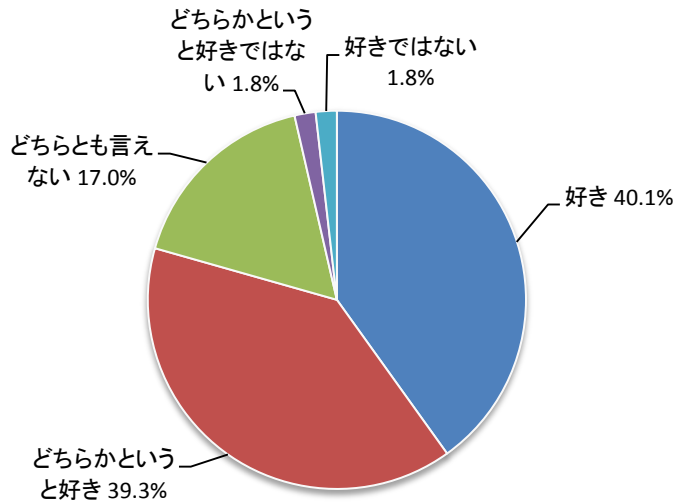
### 【回答方法及び属性】

回答方法						現在の住まい		回答者総数
イベントにおける調査	推進会議委員による調査		Webアンケート			町内	町外	
117人	90人		22人			183人	46人	
年代							回答者総数	
20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上		
1人 (0.4%)	57人 (24.9%)	28人 (12.2%)	40人 (17.5%)	29人 (12.7%)	32人 (14.0%)	42人 (18.3%)	229人 (100.0%)	

### Q1)辰野町は好きですか

当年度、「町のイメージアップ」を重点課題とするなかで初めて調査しました。

辰野町に対して、「好き」または「どちらかという好き」の回答は合わせて79.4%でした。



### Q2)-1 好きな理由

- 生まれ育ったところ、慣れ親しんだ町だから
- 静かで、環境が良く、暮らしやすい、のんびりしている
- 穏やかな住民が多い、近隣付き合いも良い、知人が多く、人のつながりができ居心地が良い
- 地域に生きがいを感じる、ほたる祭り、御柱祭等の魅力がたくさんある
- 犯罪や災害が少ない、安心して安全な生活が保たれている
- 子育てしやすい、高齢者に対するサービスも充実、子育て支援センターも他に比べ広い
- 松本、伊那、岡谷、諏訪方面に出かけやすく通学通勤に良い
- 不便を感じない、住むのにちょうど良い田舎具合
- 四季を楽しめ、晴れる日が多い、気候が良く過ごしやすい、夏でもエアコンなしで暮らせる
- 自然が豊か、ホテルが見られる、川と山など景色が良い、大城山が好きだから
- 温泉があり利用できる
- 町の個性が強いところ

### Q2)-2 好きではない主な理由

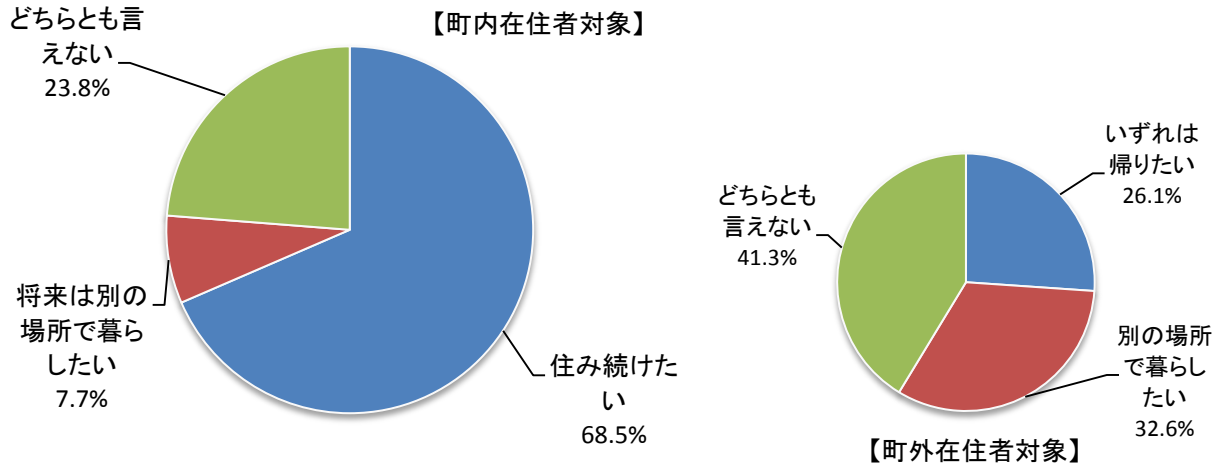
- 買い物をする場所、飲食店、娯楽施設が少ない、大型商業施設、若者向けの施設がない
- 道路整備が遅れている、道路の状態がよくない、天竜川が汚い
- 公共交通機関は本数少なく不便、インターチェンジの乗り降りが不便
- 若者が少なく活気がない
- 地域の役が多い
- 他市町村に比べ税金が高い、子どもにかかる費用が多い
- もっと意欲的なまちづくりを
- 働き場所、企業誘致を望む
- 辰野病院に常勤医師が少ない
- 仕事をしながら子育てをするなかで医療・保育サービスの内容に不満

### Q3) 将来住み続けたいですか

前回調査(平成26年7月実施の第五次総合計画後期基本計画・町民アンケート調査)では、住民基本台帳の18歳以上を対象に郵送で調査しましたが、65歳以上の回答が多い一方、若い世代の回答が少なかったため、今回は、新成人などを対象に聴き取り中心で調査し、前回未回答であった層の意向把握に努めました。

町内在住者については、「将来は別の場所で暮らしたい」が9.0%減り、「住み続けたい」が前回比2.4%増で、「どちらとも言えない」が6.6%の増となりました。

一方で、新成人をはじめとする町外在住者に伺った「いずれは帰りたい」の回答は26.1%で、平成27年10月実施の総合戦略・卒業後の進路に関する調査 Uターンの意向30.0%と比べ3.9%減となりました。



### Q4) 住み続けたい、帰りたいと思う主な理由

- 生まれ育ったところ、住み慣れたところだから、地域のつながりがあるため
- 同好会があり楽しい、昔からのお祭り等が守られ参加することが楽しい
- ゆっくりできる、静か、気候がよい、災害も少ない
- 子育てがしやすい、小中学校が落ち着いた
- 自然豊か、ホテルが多くきれい、ほたる祭りや地域でのホテル保護育成に関わりがある
- 荒神山公園などまだまだ発展性がある
- 松本、伊那、岡谷、諏訪どの方面へも出かけやすい、通勤・通学・レジャーのための移動条件が良い
- どこに行くにも適度な距離感、週末に時折都会に行き、普段は田舎で暮らすことができる
- 特に不便に感じない、不便はあるが住みやすい
- 他に住んでみたい町はない、自宅があるので

### Q5) 他の場所で暮らしたいと思う主な理由(改善要望など)

- 商店、飲食店が少ない、大型商業施設や魅力ある施設、若者が遊べる場所がない
- 企業が少なく、活気がない、街中がさみしい
- 幹線道路等の早期改修を、道路が狭い、アクセスが悪い、国道が渋滞する
- 交通の便が悪い、上辰野や今村に駅を増やしたらどうか
- 子育て、教育・社会福祉面での充実を、学校のデジタル備品が不足
- 高齢になったときの福祉対策、買い物弱者の足や巡回バス等の検討を
- 病院の設備や医師の充実を、保育・医療サービスの充実を
- 地域の仕事や役が多い、役を受ける人も偏っている
- 「辰野町でなくては」みたいな魅力がない

### 【まとめ】

「辰野町に住み続けたい」と考える人の割合が増え、総合戦略の目標(H27:66.1%→H31:70%)に一歩近づいた結果となりました。

一方でUターンの希望が前回調査よりわずかに減少傾向にあり、若い世代への魅力づくりが課題です。辰野町に好意を抱く方の割合が8割を近いなかで、定住意識のさらなる向上に努めます。